

吹田民主商工会 いんぷお め〜しよん

毎週木曜日の
昼2時・夜7時
なんでも相談会

吹田市川園町20-1
TEL (06) 6383-2211
FAX (06) 6382-8190
http://www.suita-minshou.com
suita-ms@jasmine.ocn.ne.jp

立憲主義を取り戻そう！

熱い思い 750名が集う

「9条は日本の宝 吹田のつどい2016」が2月1日(月)メイシアター中ホールで開催されました。会場は定員500名のところ、750名と満杯で立ち見もでるほどでした。戦争法廃止・立憲主義をとりもどそうとの熱気あふれる集会になりました。慶応大学名誉教授の小林節さんは、立憲主義の重要性をユーモラスな語り口でわかりやすく講演されました。参加された方から感想をお聞きしました。



村上さん

まず元気ができましたね。小林先生の話で参議院選挙の32ある一人区で野党が統一すれば、必ず自民党に勝てるというくだりには確信を持ちました。今戦争法廃止の署名を集めています。もともともっと集めなあかんという気持ちになりました。

田原さん

小林さんの演説で今回の戦争法では、実際に自衛隊員が海外派遣され、攻撃されるような事態が起きた際に、反撃するかは自己判断に任せられ、相手を負傷させたり殺してしまったりすると自己責任になる、法律上ではそうなっていると聞き、初めて知って本当に驚きました。日本は憲法で国の交戦権を認めていない以上、殺人や傷害が戦争行為として免責にできない、されないと法制官僚がわかっていて法案を作っているからだと言われていました。

班会の成功と署名推進で会員訪問

北支部の村岡さんは、1月班会の班会案内に回ると合わせて、「この署名を集めて班会に」と戦争法廃止と消費税増税中止の署名を配りました。班会には案内で苦労した甲斐もあり5名の会員さんが参加。さらにそのうち3名の会員さんが署名用紙2枚の20名分を集めて届けてくれました。村岡さんは「班会に来てくれたこと、署名を集めて持ってきてくれたことがうれしかった。」と喜んでいきます。村岡さん自身も商工新聞の読者さん、ご近所や知り合いから100名以上の署名を集めてがんばっています。

中央支部では正連山さんが支部役員会の討議で1月班会の開催を決めました。正連山さんは川岸町から南清和

園町、清和園町の会員さんに丁寧に班会案内。案内と一緒に署名用紙は持ち歩いてその場で署名してもらい、さらに知り合いからも集めてほしいとお願いしています。案内活動の中で30名の署名が集まりました。

全国中小業者決起大会に参加して

副会長 岡崎 栄一郎

1月28日、東京・日比谷公会堂で開かれた「中小業者を支援し、地域循環型・内需拡大でこそ景気回復」全国中小業者決起大会に吹田民商を代表して参加しました。北海道から沖縄まで全国の仲間1400人が参加。大阪からは100人が参加しました。

新大阪9時10分発のぞみに乗り、日比谷公会堂に着くと人、人、人であふれ熱気に包まれていました。全国から23万5千の署名が集められました。各地からの発言のトップは沖縄県商工団体連合会で、「宜野湾市長選の報告の後、沖縄に新しい基地は作らせない、米軍基地を撤去させるまで全力で頑張ります」この訴えを聞き、沖縄の問題ではなく国の問題としてとらえなければいけない。そのためにも、「戦争法廃止2000万署名を、法案反対署名の時以上に取り組もう」と決意を固めました。

「軽減するなら5%に戻せ」「マイナンバーのゴリ押しやめろ」、大阪はドラムコールで元気にデモ行進を行いました。デモ行進後、大阪代表は国会議員要請行動を行い、吹田・茨木・摂津・箕面の民商は、衆議院議員の「谷川とむ、自民・比例近畿」「上西小百合、無所属」を訪問しました。上西小百合議員室には議員本人も秘書もない状況でしたが、懇懇無礼という対応でした。

仕事がかえて大変な中でしたが、全国から参加した仲間の力強い発言や報告に胸が撃たれ、元気をもらって帰ってきました。

吹田市国民健康保険運営協議会

賦課限度額引上げと保険料引上げが

諮問通りで答申に

国保運営協議会が開催され、軽減措置の所得範囲の拡大、賦課限度額の引き上げ、保険料の引上げが諮問通り答申されることになりました。保険料は一人当たり6.08%、賦課限度額は医療分、支援金分が2万円ずつで85万円から89万円へ引き上げる内容です。

保険料引上げについては、国保加入者である被保険者代表から、医療費の国庫負担率削減が高額の保険料に繋がっていることや消費税の8%増税や10%増税も控えていることなどから、一般会計や財政調整基金からの繰入で財源不足を補てんすべきと反対する意見も出されました。出席していた3名の被保険者代表は粘り強く反対しましたが、採決では賛成多数で諮問どおりに答申となり、被保険者代表の反対意見は、付帯意見とされました。

お買い物は地元市場商店街で。商工業者の繁栄は市民と一緒！